

広島大学短期交換留学（HUSA）プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成27年 1月22日			
所属学部・研究科	社会科学研究科 2年次（留学開始時点）			
留学先大学	国立政治大学（国名： 中華民国 ）			
所属学部・学科等名	華語中心			
在籍身分				
留学期間	平成26年 9月9日～平成27年 1月19日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類： 居住ビザ			
	ビザ申請先： 大阪			
	取得方法，提出書類： ネットで申請後、大阪に取りに行きます。			
	手続きに要した日数： 1週間前後			
その他必要な事前手続き				
出国年月日	平成26年 9月8日			
経路	直通			
現地での出迎え	<input type="checkbox"/> 有（・大学関係者 ・その他） <input checked="" type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	1月9日(授業初日の昼) に中国語コースのウェルカムパーティーがあります。そのほか、学校全体のウェルカムパーティーもあります。			
帰国年月日	平成27年 2月19日			
経路	直通			
2. 留学経費について				
所要経費	総額		円	
	内訳	渡航費	20万	円
		保険料	10万	円
		教科書代(学費)	6千	円
		宿舍費	8万	円
		食費		円

		その他 (費)		円
		(費)		円
		(費)		円

2. 学習内容について

私は、中国語が月曜日から金曜日まで、毎日3時間ずつあるコースを選択しました。クラスは最大10名までで、朝か昼のクラスがあります。朝8:10分から授業を受けていたのですが、寮がとても近いので便利です。

授業内容については、指定されたテキストの1章ずつ、毎週学んでいく形式で、比較的ゆっくり学習ができます。ただ、内容はボリュームが多く、新出単語や文法もたくさん習うので復習が必ず必要です。復習をしない場合は、それでも授業にはついていけるかもしれませんが、効果があまり上がらないと思います。

台湾は、学生に宿題を課すことが多く、先生によっては毎日何かしらの宿題が出ます。ちょっとしたものも含めれば、私は週3回テストがありました。ですから、どうしても勉強しなくてはならない環境です。頑張っって何とか語学力をつけたい！という人には、ぜひ政治大学で中国語を学ぶことがおすすめです。

中国語を学習するにあたって、まず中国で学ぶ場合と比べ、繁体字を使わなければならないので、学習が二度手間になると言えなくもありません。ただ、日本語と似ている面も多いので、学習はしやすいです。ただ、台湾についてから自己学習努力が必要です。

このようなデメリットがある中、台湾にわざわざ留学するメリットは、台湾にやってくるそのほかの留学生の国籍が豊かであることだと思います。基本的に日本人はクラスに1人か2人です。一番多い国は韓国人ですが、そのほかの国の人も多様です。私のクラスには、パナマ人、スイス人、スコットランド人がいました。友人のクラスにはアラブからの留学生もいたようです。このように、語学の学習を目的としていても、クラスに様々な背景の学生がいるので、文化交流をして体感できる経験も多いと思います。これは、中国本土の大学では少ないかもしれません。

また、なぜ政治大学で中国語を学ぶのかというと、それは日本人が少ないからという点と、政治大学の中国語センターは生徒が話せるようになることを重視しているからです。聞いた話では、とある中国語初学者の学生4人が、同時に台湾に留学し、台湾大学、師範大学、そして政治大学でそれぞれ中国語を学び、一か月後に再会したところ、政治大学の生徒だけが料理を注文することができたそうです。もちろん料理の注文は簡単なことではありますが、1か月たった時点で、これだけの差がつくこともあるというよい例だと思います。

国立政治大学は、台湾でも有数の大学でもあり、提携大学がロシア大学、北京大学など一流校が多いです。政治大学の学生はもとより、そこからやってくる学生たちと交流できた経験は、これまでの自分の価値観に強く影響を与えたと同時に、今後自分のものの捉え方を大きく変えると思います。自国だけにとどまっていた自分の狭い考えが、改めて新しい角度からの視点に刺激を受け、研究も視点を変えたものにしたいと思うようになりました。

このような素晴らしい提携校に HUSA プログラムも提携しており、そのような機会を広島大学の生徒に広く開いているというのは、本当に学生として光栄で、そのような機会を実際に与えていただいたことに、深く感謝いたします。

3. 生活の概要に関するレポート

生活全般について述べれば、台湾は極めて安全で、しかも日本の文化と似たところがあるため、生活しやすいと思います。

台湾の人はとても親切で、その好意が全く自然で、少しでも相手の役に立てるならという気持ちが伝わってきます。台湾の人の一番優れたところだと思います。交換留学生には 1 人につき、ボランティアの台湾政治学生が 2 人つきます。バディーと呼んでいますが、そのバディーは工夫を凝らして私たちをもてなそうとしてくれます。たとえば、友人は空港まで出迎えて貰い、定期的に会って、友達になったそうです。私は、バディーが日本語を学びたいというので、毎週 1 回会い、一緒に勉強しました。また週末には、どこか出かけたり、友人を紹介してもらったりと、とても楽しかったです。何か不安なことがあれば、バディーに相談すれば、必ず力になってくれると思います。

住居について、大学外で部屋を探すこともできますが、寮に住むことを選択すれば、そこで友人ができるのでお勧めです。寮は 2 人部屋と 4 人部屋がありますが、私は 2 人部屋で、ドイツ人の女性と相部屋でした。どの部屋を見ても、だいたい違う国の交換留学生とペアになっており、自室でも文化交流ができてよいと思います。また、各フロアに集まれる部屋が一つずつあり、そこでほかの部屋の留学生と友達になることができます。気が合った子と、週末旅行に行ったり、ご飯を食べに行ったりして、授業以外でも楽しく過ごすことができます。

大学自体は、少し校内にあり、おまけに寮は山の上にあるので、出かけるのが少し億劫ですが、校内にバスがあるので、それに乗れば移動も楽です。ご飯は寮にある学食か、学校前にある店を利用します。学校の前は学生街になっており、たくさん店があるので、そこで食べられます。価格も 200 円程度からあるので、安いと思います。

以上のように、台湾はとても暮らしやすく、かつ生活費も日本より抑えられるので、留学しやすいところだと思います。